

令和6年度学校経営方針概要

令和6年4月 練馬区立春日小学校 校長 後藤 京子

練馬区の教育振興計画

- みどりの風吹くまちビジョン
- 練馬区教育・子育て大綱
- 練馬区教育振興部教育指導課の重点課題
- 練馬区教育振興基本計画
- 教育指導課主要施策

めざす学校像

○児童一人一人が「充実感」を実感しながら学ぶことができ、「夢や目標」をもち、持続可能な社会の創り手としてふさわしい資質・能力を身に付ける学校
○自他の良さや可能性を見だし自己肯定感を高め、誰一人として取り残さない学校
○児童・教職員・保護者・地域がつながり、信頼関係を構築する学校

確かな学力の定着と向上

- 児童が「できた」達成感、「わかった」成就感、かかわりあうことによる充実感を味わい、教師も児童も自己実現できる授業とするため工夫改善に努める。
- SDG sの視点に立った問題解決型の学習
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
 - ・主体的・対話的学び
 - ・「問いをもつ」学習過程の工夫
 - ・体験的な学び、表現活動
 - ・図書館活用
 - ・プログラミング的思考
 - 基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着率の向上
 - ・学習規律・読解力向上・ICT活用・少数指導・家庭学習の充実
 - ・春日タイム（タブレットスキルの向上）
 - 言語活動を重視・対話的な学習の質と表現力の向上
 - 教科横断的な視点から持続可能な開発目標と各教科の資質・能力の内容の位置づけ
 - ・カリキュラムマネジメントによる言語能力、コミュニケーション能力、情報収集能力、既存の学習内容の活用
 - 評価と指導の一体化・自ら学びを調節する力の向上
 - ・振り返り（自己評価）・形成的評価（認める）・机間指導の工夫・学力調査の分析
 - ・習熟度に応じた指導
 - ・得意を伸ばす指導・指導記録活用
 - 校内研究会の充実・深化
 - ・全学年研究授業
 - ・事前授業、本時、検証授業の実践による確かな指導力の向上
 - 教職員の連携
 - ・認め・励まし・褒める指導体制
 - ・一人一人に居場所のある学級経営
 - 教職員の共通実践と指導力の向上
 - ・春日スタンダードの確実な実施
 - ・ミニ研修会、春日アカデミーの取組

学校の教育目標

国際社会で生きる日本人として、人権尊重の精神に基づき、常に自主的・創造的で社会の一員としての心を持ち、たくましく生き抜くことのできる生きる力を身に付けた児童の育成を目指し次の目標を設定する。

- 【か】 考えて正しく行動する子ども
- 【す】 素直で思いやりのある子ども
- 【が】 がんばりぬく元気な子ども

めざす子ども像

- 主体的に学習に取り組み、自分で学びを深めることができる子
- 自分を大切にし、まわりのすべての人と環境にやさしくできる子
- 地域の人とすすんで関わり、粘り強く問題解決を図ることができる子
- SDG sの実現に努力する子

人権尊重および豊かな人間性の教育の推進

- 児童相互の好ましい人間関係、児童と教職員・保護者と教職員との信頼関係等の構築に努め、心の通い合う温かみのある学級・学年づくりを目指す。
- 基本的な生活習慣の確立
 - ・『きもちがいいね そのあいさつ 相手の目を見て明るい声で』挨拶運動の実施
 - ・「一日のくらしの約束」の共通実践
 - 規範意識、責任感、公德心の醸成
 - 考え議論する道徳教育の充実、豊かな心の育成
 - ・自他の生命の尊重、互いを尊重する思いやり
 - ・道徳授業地区公開講座 講演会の実施
 - 人権尊重の視点に立った学年・学級経営
 - ・自尊感情、自己有用感の育成・学級の一員としての所属感・存在感の確立
 - ・人格を認める肯定的な評価、信頼関係の構築
 - ・体罰や言葉の暴力の否定
 - 思いやりの心、自己肯定感の向上
 - ・異学年交流 カサゴモランド
 - ・いいとこみつけ週間の設定
 - いじめのない学校
 - ・しない・させない・見逃さない・ゆるさない
 - ・いじめ防止推進委員会を中心とした組織的な取り組みの実施
 - 命を大切にする学校
 - ・居心地の良い場所づくり・自己実現を図る場所づくり
 - 読書活動の推進
 - ・言葉を学び、感性を磨き表現力を高め、創造力を豊かに
 - ・保護者の読み聞かせ
 - ・校長による読み聞かせの会
 - 児童への温かい柔軟な指導（不登校児童をつくらないために）
 - ・目をかけ、声をかけ、手間をかける指導
 - ・虐待の早期発見
 - ・人権に配慮した言語環境への留意
 - ・教師と児童による主体的な清掃活動の実現

開かれた学校づくりの推進

- 持続可能な社会の形成者として相応しい資質・能力を育てるキャリア教育の推進
- 地域に対する愛着や愛情を育てる学習の推進（社会形成能力の育成）
- 非常災害時の確かな思考・判断に基づき、「自分の身は自分で守る子」の育成
- ・勤労や社会福祉・金融金銭教育・社会で活躍する人との交流・キャリアパスポートの活用・コミュニケーション力
- ・地域コーディネーターを中心とした地域教材、地域人材の活用による体験的な学習
- ・地域行事への参加意欲
- ・避難拠点、学校応援団、学童クラブ、練馬区防災課との総合防災訓練の実施

学習指導要領

- 持続可能な社会の創り手となる児童の育成
- ・社会に開かれた教育課程の実現
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・カリキュラムマネジメントの充実

特色ある教育活動

E S D（持続可能な社会の担い手を育てる教育）を基盤とした学校教育とSDG sに向かう教育課程の編成

めざす教師像

- 児童理解に努め、温かく肯定的な指導をする教師
- 主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善に取り組む教師
- 互いに切磋琢磨し、協働的に取り組む教師

健康の保持増進・体力向上・安全・安心な学校生活

- 体力の向上
 - ・外遊びの日常化
 - ・新体力テストの活用
 - ・パワーアップ週間の設定
- オリンピック・パラリンピックのレガシー
 - ・運動技術や技能の習得において、難しさ・つらさを乗り越える努力をし、克服する指導・ルールを守ることの大切さを指導
 - ・オリンピック・パラリンピアから学ぶ授業
- 安全、安心、楽しい学校生活
 - ・交通安全指導、避難訓練の計画的な実施
 - ・「自分の身は自分で守る」児童の育成
 - ・不審者、侵入者対応等安全確保の徹底、セーフティ教室の実施
 - ・情報モラル教育、薬物乱用防止教室の実施
- 事故発生に素早く対応（落ち着いた初期対応が重要）
 - ・特に首から上のけがや子ども同士のトラブルへの迅速な対応
 - ・発生する前に兆候を把握した未然防止の視点強化
 - ・管理職への報告・連絡・相談および記録の確実な実施
- 共通認識に基づく指導の徹底
 - ・基本的な生活習慣の徹底（あいさつ、返事、後始末、言葉遣い、感謝の心）
- キャリア教育の推進
 - ・自分のよさや可能性の発見
 - 将来に対する夢や希望の醸成
 - ・望ましい勤労観の育成
- 新型コロナウイルスによる感染症への予防対策
 - ・ガイドラインに沿った対応
- 食育の推進
 - ・望ましい食習慣・食生活の実現
 - ・食品ロスを減らし、SDG sへの問題意識寒気

働き方改革

- 人材活用と業務の精選
- ・休暇15日以上取得
- ・s s s、G Tの活用、
- ・週に1回の環境整備